



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第32号

2019年3月25日発行

ホームページアドレス <http://attaka2018.starfree.jp/>

2011年3月11日の東日本大震災より丸8年が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

自分らしく、身近な社会で 共に生きる！

平成30年度は、スキルアップ研修やまなびばしゃべりばカフェの実施、依頼に応じて講師派遣、他団体との交流や情報交換等、ねっとの人材とノウハウを活かし幅広い活動を重ねました。

2025年が近づき地域の支え合いが必須の社会となっていくと思いますが、学校現場でも、全面実施へと動き始めた新学習指導要領の前文に「社会に開かれた教育課程の実現」とあり、誰かが誰かのために役立つ地域福祉&福祉教育の視点やサービスラーニングの果たす役割がますます重要となります。

新年度も、若者への福祉教育研究会と連携しながら、自分を大切に、他者も大切に、そして「自分のしあわせ！みんなのしあわせ！」を実現できるよう学びを重ねていきましょう。

下記のとおり5月12日(日)に総会・研修会を行います。是非、ご参加ください。

総会
研修会

お知らせ

2019年度ねっと総会

開催日：2019年5月12日(日) (受付9時15分～)
開始：9時30分 議事終了：10時20分(予定)

会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
(JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)
対象：正会員・賛助会員及び会員を希望する方
年会費：正会員 1,000円
賛助会員 1口：500円

事前の申込みが必要！
分科会の希望順を明記してください。

2019年度ねっと研修会 「地域をつなぐ福祉教育」 ～地域いろいろ、人生いろいろ～

日時：2019年5月12日(日)
時間：10時50分～15時45分(受付10時20分～)
会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
講師：原田正樹氏(日本福祉大学・教授)
島村八重子氏(全国マイケアプラン・ネットワーク代表)
対象：地域福祉や福祉教育に関心がある人(学生含む)
参加費：一人2000円 学生無料
※各自で昼食をご用意ください。すこやかプラザ周辺には飲食店がありません。

内容

- (1) 対談「自分を知る・地域を知る・共に生きる」
登壇者：原田正樹氏、島村八重子氏
全国マイケアプラン・ネットワーク代表として2001年から活動をしている島村八重子氏は、親の介護・子育て・里親も体験。原田正樹氏との対談から「身近な社会で共に生きる・誰もが自分らしく生きる」ためのヒントを学びます。
- (2) 昼食タイム
～交流・情報交換～
- (3) 分科会～地域いろいろ、人生いろいろ～
*分科会A・B・C・Dのうち2つを選択

【分科会A】「ひきこもり」

～発達障害とひきこもり、体験者のお話から一緒に考えよう！～

話題提供者 がきんちょ・山瀬 両氏
(中高年発達障害当事者)

アドバイザー:松本すみ子氏(東京国際大学 教授)

【分科会B】「LGBTQ」

～性的マイノリティへの理解・多様な価値観を！～

話題提供者 齋喜逸江氏(トランスジェンダー当事者)
アドバイザー:大島隆代氏(早稲田大学 准教授)

【分科会C】「いのち」の授業

(福祉教育実践プログラム《Baby-smile》より)
～小さくあたたかいいのちに触れ、いのちを感じる。生きるを大切に！～

話題提供者 木暮倫子氏(代表)・太郎田笑梨氏・倉持尚美氏

アドバイザー:中島 修氏(文京学院大学 准教授)

【分科会D】「集う」が生み出す未来の芽

～主体的に・伸びやかに・多世代がつながる！～

話題提供者 平山雄大氏(コミュニティスペース「北坂戸ぽんわか」)

アドバイザー:佐藤 陽氏(十文字学園女子大学 教授)

(4) 全体会「分科会まとめ」

分科会アドバイザー各氏より

(5) まとめ「2025年に向けて」

コメント:原田正樹氏

申込み方法

- ◇氏名・連絡先・所属(あれば)を記入
- ◇分科会の第1希望から第3希望までを明記の上お申し込みください。*人数調整については事務局に一任とさせていただきます。
- ◇申込み締切り 4月25日(木)
- ◇保育・手話等の配慮が必要な方はお申し出ください。

研修会はどなたでも参加できます。お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

申込先:ねっと事務局 須田 049-283-1865(FAX)

メールアドレス masako@niconico39.net

報告 主催事業

**まなびばしゃべりばカフェ 2018
結婚観を探ろう!知ろう!**

平成30年11月10日(土)、坂戸市文化施設オルモにて、事前研修をふまえ、まなびばしゃべりばカフェのスペシャル版として行ないました。

前半は、様々な人生に見立てたコーナーにキューピット役の担当者らが控え、参加者はくじで引き当てた3ヶ所を巡りながら、出会い、知り合う場となりました。(☆印:主たる担当者-敬称略-)

◇子ども・母親・妊婦体験コーナー

「次世代へとつないでいく笑顔の連鎖、すくすく子育て、育児は育自」

☆太郎田 笑梨・倉持 尚美 (Baby-smile)

◇若者・ほめカードコーナー

「褒め力アップ!自己肯定感アップ!しあわせ度アップ!」 ☆清野 恵理子

◇子育て・里親・自分らしい暮らしコーナー

「絆を育てていく幸せ、家族それぞれが自分らしく」 ☆新井 裕子(企画原案者)、島村 八重子

◇高齢になるってどんなこと?コーナー

「子供叱るな来た道じゃ、年寄り笑うな行く道じゃ」 ☆関口 久美子、南 幸久

◇盲導犬・ボランティアコーナー

「ボランティアで広がる、人との出会い!人とのつながり!」

☆吉田より子&ラッキー、小原 史江

◇LGBT・性的マイノリティコーナー

「尊厳を大切に!自分らしく生きる。」
☆齋喜 逸江

◇電動車いす・情報発信コーナー

「車いすユーザーも恋愛・結婚します!」
☆上野 優一(トコチェア)

◇婚活支援コーナー

「幸せになろう!きっと見つかる素敵な出会い」
☆鶴ヶ島市社協婚活支援担当、埼玉県福祉部少子政策課企画・子育てムーブメント担当、坂戸市総合政策部政策企画課・SAITAMA 出会いサポートセンター坂戸

後半は、お菓子パーティ形式で気の合った人とお

しゃべりタイム。電動車椅子ユーザー3名、盲導犬ユーザー1名、視覚障害当事者2名、子ども3名を含む参加者全員が語り合い、地域のあたたかいつながりや相手を大切に思うつながりを理解し合いました。

お茶とお菓子で、和気あいあいのおしゃべりタイム



カップル誕生の運びには至りませんでした、若者の夢などは共感共有し、楽しく若者たちと交流、全員から笑顔で、参加して良かったとの声が届いたことが何よりの成果となりました。

まなびばしゃべりば 冬カフェ 「心のバリアフリー研修」に参加しよう！

平成31年1月21日(月)、所沢市こどもと福祉の未来館において、トコチェア(DET 埼玉)との共催で開催された「障害平等研修(DET)」を受講し、心のバリアフリーを考え合いました。

障害平等研修(DET)とは、障害者差別解消法を推進するための研修で、障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創ることを目的として、障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修とのこと。

様々な立場の参加者はグループに分かれて、講師役の上野優一氏のリードで、2時間のプログラムを体験。規定の資格を有した電動車いすユーザーや視覚障害者のファシリテーター5名が各グループをサポートしました。初めに、「研修終了後、私は身近な障害を見つけ、その障害を取り除くことにより、誰でも安心して暮らせる地域社会を作る」という目標が示され、障害は何？障害はどこにあるのか？そして、今すぐできることは何か？等々、所定のワークを積み重ねながら、和気あいあいの雰囲気の中で気づき合いました。



注) DET=Disability Equality Training の略

報告 いろいろ

講師派遣依頼に応じて 各地に出向きました

様々な依頼に応じて講師派遣をしています。

今年度後半は、人事院「第97回関東地区中堅係員研修」(11月8日)、神奈川県社協「平成30年度第1回市町村社協職員情報交換会・社会的包摂に向けた福祉教育～既存の取り組みを活かした実践を考える～」(2月1日)、戸田市社協「ボランティアアドバイザー養成講座・今求められる福祉教育とは」(2月7日)、上尾市「平成30年度人権問題職員研修・障害のある人の人権について～視覚障害の視点から考える心のバリアフリー～」(2月12日)がありました。(事務局把握分)

それぞれ2～4人のチームで出向き、目的に合わせた講話・体験等行いました。

日本福祉教育・ボランティア学習学会 あいちなごや大会に参加

11月24日(土)～25日(日)、「日本福祉教育・ボランティア学習学会 第24回あいち・なごや大会～共生文化創造への途ー福祉教育・ボランティア学習の新たな展開を探る～」が日本福祉大学東海キャンパス他でおこなわれました。

ねっと会員も多数参加し、講演「共に生きる意味」、対談「共生文化の創造に向けた学び」等で気づき、考え合い、自由研究発表の各会場を巡りながら様々な知見や課題研究などに触れました。

夜におこなわれた情報交換パーティでは、全国の方々と笑顔一杯の交流・情報交換をしました。

2日目の第9分科会「実践プログラム・評価」では、若者への福祉教育研究会から2発表があり、多くの来場者が傾聴し、高い関心を寄せていました。



With you さいたまフェスティバルに参加 展示ブースで交流しました。

埼玉県男女共同参画推進センター(愛称:With You さいたま)主催の「第17回With You さいたまフェスティバル」が2月1日～3日の3日間行

なわれました。今年度もブース出展をし、訪れた方々と交流、他団体との情報交換をしました。



若福研究会コーナー

2016年に立ち上がった若者への福祉教育研究会も、研究会や学習会の開催、報告書の製作・発信等を重ねて、着実に成果を上げています。

先日の研究会では、アドバイザーとして諏訪 徹氏（日本大学 教授）をお招きし、ミニ講話「これからの地域のカタチ～次世代へつなぐ」についても学び合いました。

2019年度については、新たに2つのプロジェクトが動き始めています。①4月16日から5回にわたってはじまる菱沼幹男氏（日本社会事業大学 准教授）をアドバイザーとした施設プロジェクト

②若者ボランティア活動について「若者自身が自らの活動をプログラム化するプロジェクト」です。

これまでのノウハウを活かしながら、今後もさらにブラッシュアップを重ねます。

県社協からの情報

今年度、県社協では福祉教育の取組として下記の事業を実施し、皆様に地域活動の取組への理解を図りました。

○生活支援サポーター養成事業

隣近所の“さりげない気遣い”“ちょっとした目配り”など地域に関心を向けていただく応援者を5,120名（見込）養成しました。

○福祉教育推進者研修

これまでの視点を大切にしながら、学習指導要領改訂のポイントを捉え、学校と地域で福祉教育を推進していく上での視点について、実践事例を交え、考えました。

その他にも、「小中学生作文コンクール」や、地域の理解者・活動者を増やすためのポイントをテーマとした「共生・共助つながりづくりシンポジウム」、ボランティア活動に関心のある高校生対象の

「ヤングボランティア交流会」などを実施しました。

平成31年度も引き続き、地域共生社会の推進に向けた取組を実施して参ります。

事務局情報

ねっとホームページが引っ越します！

4月1日よりホームページURLが変わります。
新URL：<http://attaka2018.starfree.jp/>

若者への福祉教育研究会の情報も

報告会や研究会が順次行なわれています。関心のある方はどうぞご参加ください。

・若者への福祉教育研究会HP

<http://wakafukuken.wixsite.com/saitama>

・フェイスブックのグループページ

<https://www.facebook.com/wakafukuken>

メーリングリストで情報を

会員・賛助会員の方でメールアドレス（携帯も可）をお持ちの場合、メーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス：masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費（年1000円）で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願ひします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

これまで利用していた「Yahoo!ジオシティーズ」が3月31日をもってサービスを終了。ねっとホームページの移行を余儀なくされました。今後は無料レンタルサーバー「スターサーバー」を利用するためURLが変わります。今後よろしく！

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク（通称：あったかウエルねっと）

編集：あったかウエルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL：048-822-1435

FAX：048-822-3078

Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp